



笑

彦頁

NO. 7 1

ホームページアドレス
Eメールアドレス

<http://www.okabenishi-e.ed.jp>
okanishi-e@okabenishi-e.ed.jp

「学力・学習状況調査」結果及び今後の取組について

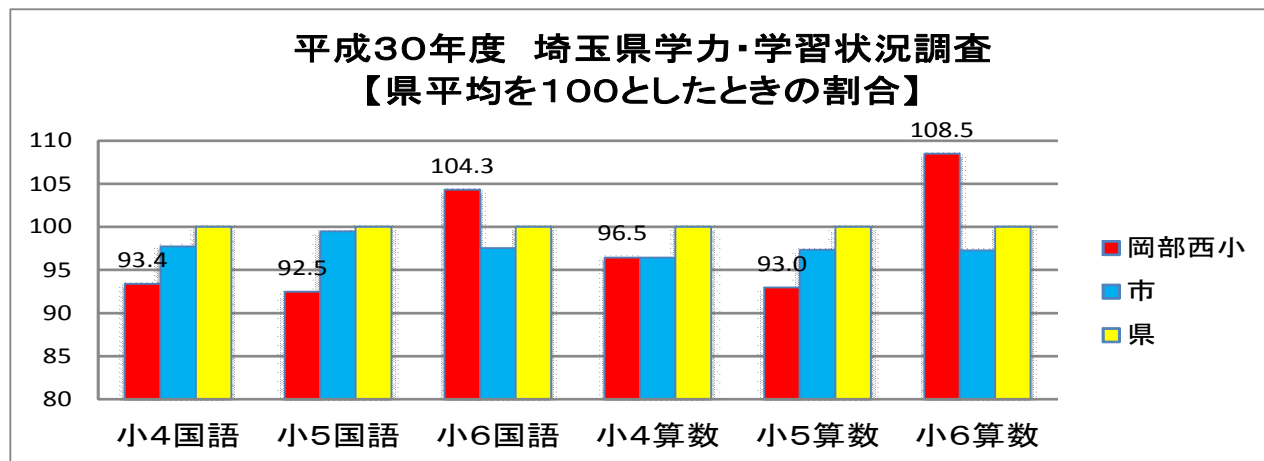
本年度実施された「全国学力・学習状況調査」及び「埼玉県学力・学習状況調査」の調査結果が公表されました。このことを受け、本校では児童一人一人の学習状況を把握し、児童への学習指導や実情等の改善に役立てるため、分析を行いました。その結果と今後の取組について報告します。

1 「埼玉県学力・学習状況調査」について

(1) 趣旨

埼玉県では、全県的な教育水準の維持向上を図る観点に立ち、独自に平成27年度から、「埼玉県学力・学習状況調査」を実施することになり、今年度は4月12日に実施しました。この調査は、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばすため、学習内容をどの程度身に付けているかを把握するとともに、学習に対する興味・関心などの状況を調べるために県内の小学4・5・6年生、中学1・2・3年生を対象に、「国語」「算数」（「英語」）及びアンケート形式の「児童生徒質問紙調査」で実施しています。

(2) 結果



(3) 分析：本校のよかった点と課題（○よかった点、●課題）

<国語>

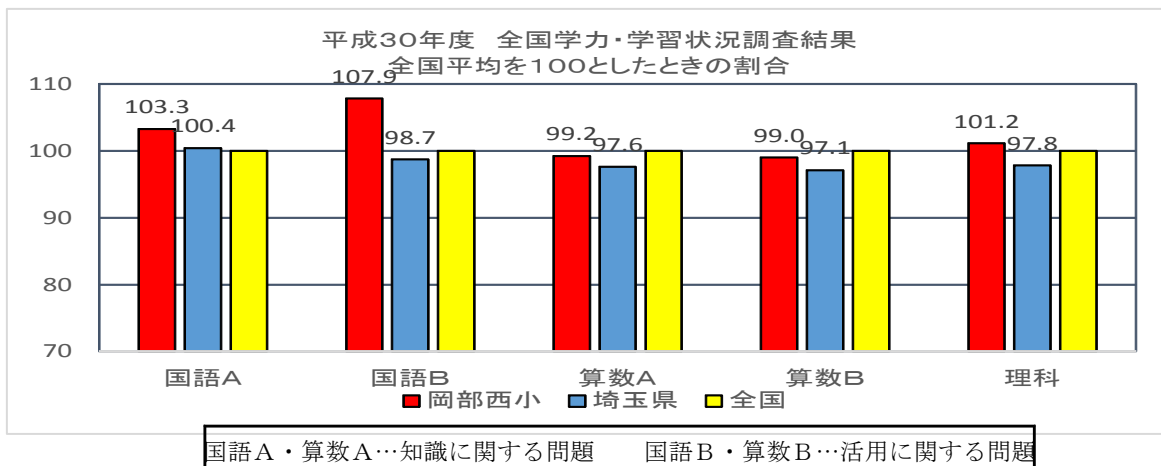
- 4年 ○主語・述語。同音異義語。
●指示語、登場人物の読み取り。
- 5年 ○漢字、話すこと・聞くこと。
●修飾語、慣用句、ことわざ。
- 6年 ○心情の読み取り。
自分の考えを明確にして書く。
●慣用句。情景描写の読み取り。

<算数>

- 4年 ○計算力。三角形の性質。
●文章題。球の半径。
- 5年 ○計算力。角度の求め方。
●除法の性質の理解。
図形（平面・立体・展開図）
- 6年 ○計算力。図形。比例関係。
●分数の大小。四則計算の混合問題。

2 「全国学力・学習状況調査」について

(1) 結果



(2) 分析：正答率が高かった問題と低かった問題（○高かった問題、●低かった問題）

【国語】

本校平均値（全国比較）

- 文章の内容を的確に読み取り、自分の考えを明確にして書く。 71.7% (+19.4)
- 漢字を正しく書く。 84.8% (+11.4)
- 文の中における主語と述語の関係に注意して、正しく書き直す。 28.3% (-7.2)
- 話合いの参加者として、質問の意図を捉える。 76.1% (-6.4)

【算数】

- 数量の関係を理解し、数直線上に表す。 76.1% (+9.4)
- 複数の情報を関連付けて、根拠を明確にして記述する。 52.2% (+9.0)
- 小数の除法の意味の理解。(12÷0.8の式で求められる問題を選ぶ。) 21.7% (-18.2)
- 単位量当たりの大きさ。(2つのシートの混み具合を比べる。) 39.1% (-11.0)

【理科】

- 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通す。(土地の浸食) 67.4% (+12.0)
- 「関節」という言葉の理解。 87.0% (+7.6)
- 学んだことを基にしたものづくりへの適用。(電流の向き) 54.3% (-9.2)
- 実験結果を基にして、より妥当な考えに改善する。 52.2% (-7.2)

3 今後の取組

(1) 指導方法の工夫改善

- ①自分の考えや根拠を明確にして書く活動を効果的に取り入れた授業の実践
 - ・説明する力や思考力等を高めるために、自分の考えを順序立てて説明できるような授業展開を行う。
- ②両学力調査の結果と課題を踏まえた学習指導やスキルアップタイムの一層の充実
 - ・書く力を高めるため、発達段階に応じた語彙シートを活用するなど、語彙を増やすとともに段落分けや表現の仕方について確実な定着を図る。
 - ・個人や学年の課題に応じた読解プリント、算数ボックスのプリントを活用し基礎的基本的な力を確実に習得させ、活用問題にも取り組ませる。
- ③課題解決の方法を考えさせる授業展開の工夫
 - ・自分で読み取り課題解決させるために、授業内で具体物を操作したり、数直線や図をかいたりして求めるなど様々な解決方法を考えさせ、意見を交流させる。

(2) 家庭・地域との連携

- ①家庭学習時間のめやすの周知と見届け。
「学年×10分+10分（1年・20分…6年・70分）」
- ②週末課題を中心とした読書の確実な実施。
 （2学期の読書キャンペーンでは、「親子読書」にご協力いただきます。）
- ③地域の方々に協力いただく教育活動や授業実践の一層の開発。